

參考資料

平成 25 年度に行う最先端研究開発支援プログラム (FIRST) の フォローアップの進め方について

平成 25 年 9 月 5 日

最先端研究開発支援プログラム担当室

1. 最先端研究開発支援プログラム (FIRST) の毎事業年度のフォローアップについては、「最先端研究開発支援プログラムのフォローアップ及び評価の具体的な運用について」(平成 24 年 6 月 7 日改訂総合科学技術会議最先端研究開発支援推進会議)に基づき、研究目標の達成に向けて着実に進捗しているかを把握することを目的として実施している。
2. 平成 24 年度については、中間評価の実施年度であったことから、中心研究者及び研究支援担当機関からヒアリングを行い、平成 25 年 3 月に中間評価の結果を決定・公表したところ。
3. 平成 25 年度に行うフォローアップについては、
 - (1)平成 24 年度の研究の進捗状況について、実施状況報告書及び補足資料に基づき、推進チームのメンバーにより選定された外部有識者による書面レビューを実施する。
 - (2)また、平成 25 年度が FIRST の最終年度であることから、以下の点を実施する。
 - ・FIRST 終了時までの研究計画の妥当性について確認。
 - ・FIRST 終了後の道筋について各研究課題の検討状況の確認。
 - ・中間評価において見直しを求めた課題について、中心研究者等からヒアリングを行い、進捗状況を確認。

(参考)

○最先端研究開発支援プログラムのフォローアップ及び評価の具体的な運用について(平成24年6月7日改訂総合科学技術会議最先端研究開発支援推進会議)から抜粋

2. フォローアップ及び評価の実施方法

(2) 研究課題の研究支援担当機関からの聴取によるフォローアップ

① 実施時期

平成22年度から平成25年度までの各事業年度のフォローアップは、当該各翌年度の7月から8月を目途に実施する。但し、研究課題の中心研究者からの聴取によるフォローアップ及び事後評価を行う年度においては、研究支援担当機関からの聴取によるフォローアップは行わない。

② 目的

中心研究者の独立性及び自主性を尊重しつつ、世界トップ水準の研究開発を推進・支援するという観点を基本に、研究目標の達成に向けて着実に進捗しているかを把握する。必要な場合には、研究計画や推進・支援体制等の改善を求める。

③ 実施体制及び実施方法

- i) 推進チームのメンバーにより選定された外部有識者は、研究支援担当機関から振興会に提出される実施状況報告書及び別途推進チーム又は自らが研究支援担当機関を通じて求める補足資料に基づき書面レビューを行う。
- ii) 推進チームのメンバーは、研究支援担当機関からヒアリングを行い、ヒアリング結果及びi)の書面レビュー結果を踏まえ、フォローアップの内容を決定する。
- iii) 推進チームは、フォローアップの内容を推進会議に報告するとともに、必要に応じて研究支援担当機関に改善を要求する。

最先端研究開発支援プログラム(FIRST)の 平成24年度のフォローアップに係る外部有識者一覧

【ライフサイエンス領域】

氏名	所属・役職
上田 泰己	東京大学大学院 医学系研究科 教授
辻 省次	東京大学大学院 医学系研究科 教授
長洲 毅志	エーザイ株式会社 CINO付担当部長
山本 雅之	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長

【医療工学領域】

氏名	所属・役職
江頭 健輔	九州大学大学院 医学研究院 教授
西島 和三	持田製薬株式会社 医薬開発本部 専任主事／東北大学 未来科学技術共同研究センター 客員教授／東京大学 大学院農学生命科学研究科 特任教授
米倉 義晴	独立行政法人 放射線医学総合研究所 理事長

【物質材料領域】

氏名	所属・役職
岩本 光正	東京工業大学大学院 理工学研究科 教授
上野山 雄	パナソニック株式会社 フェロー
北川 宏	京都大学大学院 理学研究科 教授
小出 康夫	独立行政法人 物質・材料研究機構 光・電子材料ユニットワイドギャップ機能材料 グループリーダー／低炭素化材料設計・創製ハブ拠点 副拠点マネージャー／NIMS微細加工プラットフォーム プラットフォーム長
小柳 光正	東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授
田原 修一	日本電気株式会社 中央研究所 理事
吉野 彰	旭化成株式会社 フェロー／吉野研究室 室長 ／LIBTEC理事長

【数物・情報領域】

氏名	所属・役職
秋永 広幸	独立行政法人 産業技術総合研究所 ナノエレクトロニクス研究部門 総括研究主幹
今井 浩	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授
國枝 秀世	名古屋大学 理事・副総長 大学院理学研究科 教授
黒部 篤	株式会社東芝 研究開発センター 理事
西尾 章治郎	大阪大学特別教授 サイバーメディアセンター センター長
波多野 睦子	東京工業大学大学院 理工学研究科 教授

【機器・システム開発領域】

氏名	所属・役職
有信 睦弘	東京大学 監事
石出 孝	三菱重工株式会社 技術本部 先進技術研究センター センター長
佐藤 正明	東北大学 国際高等研究教育機構 学際科学フロンティア研究所 所長
松井 良夫	独立行政法人 物質・材料研究機構 外部連携部門 研究連携室 連携コーディネーター
松木 則夫	独立行政法人 産業技術総合研究所 四国センター 所長

最先端プログラムの研究進捗フォローアップ（年次）の目的・視点について

《フォローアップの目的》

中心研究者の独立性及び自主性を尊重しつつ、世界トップ水準の研究開発を推進・支援するという観点を基本に、研究目標の達成に向けて着実に進捗しているかを把握する。必要な場合には、研究計画や推進・支援体制等の改善を求める。

《フォローアップの視点》

【中心研究者・研究支援担当機関の双方がフォローアップ対象】

- (1) 研究目標の達成へ向け、研究開発が着実に進捗しているか
 - 世界をリードする世界トップ水準の研究開発が展開されているか
 - また、終了時にそうした水準の成果が得られる見通しは十分か
 - (2) 以下の事項を併せて確認
 - 研究推進体制は適切に構築され、機能しているか
 - 研究支援体制は適切に構築され、機能しているか
 - 成果の社会還元に向けた方策の検討・体制構築等は順調に進んでいるか
 - 関係機関・関係者間の知的財産権の帰属に関する調整は、適切になされているか
 - 成果の発信・公開は、分かりやすい発信を行うという観点も含め、適切に行われているか（最先端研究開発戦略的強化事業（以下「強化事業」という。）による公開活動を行った研究課題は、当該活動も含めて確認）
 - 国民との科学・技術対話の実施状況、及び研究支援担当機関による科学・技術対話のための環境の整備に係る取組内容はどのようなか
 - (3) 強化事業による研究開発経費の配分を受けた研究課題については、その効果が認められるか。
- ※ 併せて、研究費を基金化した効果についても聴取する
- (4) 中間評価の結果の中で改善を求めた事項については、対応状況の確認を行う。

最先端研究開発支援プログラム(FIRST)の平成24年度のフォローアップにおける担当領域一覧表

	ライフサイエンス 領域	医療工学 領域	物質材料 領域	数物・情報 領域	機器・システム開発 領域
主担当	平野 俊夫	平野 俊夫	橋本 和仁	久間 和生	大西 隆
副担当	山本 雅之	西島 和三	岩本 光正	西尾 章治郎	有信 睦弘

(参考1) 副担当以外の外部有識者 ※ライフサイエンス領域および医療工学領域に属する外部有識者は両領域の評価に参画する。

他の外部有識者	上田 泰己	江頭 健輔	上野山 雄	秋永 広幸	石出 孝
	辻 省次	米倉 義晴	北川 宏	今井 浩	佐藤 正明
	長洲 毅志		小出 康夫	国枝 秀世	松井 良夫
			小柳 光正	黒部 篤	松木 則夫
			田原 修一	波多野 睦子	
			吉野 彰		

(参考2) 30研究課題の領域区分

中心研究者	審良 静男	岡野 光夫	安達 千波矢	合原 一幸	江刺 正喜
	岡野 栄之	片岡 一則	川合 知二	荒川 泰彦	栗原 優
	児玉 龍彦	白土 博樹	木本 恒暢	大野 英男	山海 嘉之
	柳沢 正史	永井 良三	小池 康博	喜連川 優	田中 耕一
	山中 伸弥		瀬川 浩司	十倉 好紀	外村 彰
			細野 秀雄	村山 斉	中須賀 真一
			水野 哲孝	山本 喜久	
			横山 直樹		
	(5研究課題)	(4研究課題)	(8研究課題)	(7研究課題)	(6研究課題)